

海軍公報

第二千五百五十八號

海軍大臣官房

大正十年四月十三日(水)

○令達

官房第一二九七號

南洋交通船ヲ左ノ通改々其ノ行動及海軍ニ關スル輸送業務等ニ關シテハ大正六年十二月官房第三七一九號ニ準據スル儀ト心得ヘシ

大正十年四月十三日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

記

松山丸 (日本郵船株式會社)

筑前丸 (同) 右

泰安丸 (同) 右

参照 大正六年十二月官房第三七一九號ハ南洋交通船ノ輸送業務等ノ件ナリ

○辭令

○大正十年四月十二日

任海軍書記

永井 順

給六級俸

任海軍書記

鈴木 一郎

給十一級俸

任海軍編修書記 海軍書記勳八等

板倉 貞男

給二級俸

(各通)

海軍書記 永井 順

海軍軍令部附ヲ命ス

海軍編修書記 板倉 貞男

水路部附ヲ命ス

海軍書記 鈴木 一郎

給三級俸

海軍編修書記 大久保善太郎

(各通)

海軍書記 小川 恭助

依願免本官

海軍編修書記 大久保善太郎

歸朝ヲ命ス

海軍技手 田中 遙

海軍兵學校齒科醫囑託 三宅 寛平

海軍公報第二千五百五十八號 大正十年四月十三日

三三五

1706

○艦船所在

指[▲]定[▲]ヲ[▲]要[▲]セ[▲]ス

○四月十三日午前十時調

【横須賀】 口長門、扶桑、▽筑摩、矢矧、口金剛、

陸奥、山城、生駒、朝日、榛名、八雲、若宮、津輕、

秋津洲、橋立、蒲州、武藏、千早、▽龍田、口梅

楡、柿、栗、口榎、梨、竹、▽天龍、口澤風、峯風、

矢風、沖風、口羽風、島風、口谷風、江風、葵、菊、

口櫻、桑、椿、楓、口吹雪、如月、有明、初霜、神風、

響、口追風、彌生、夕風、疾風、秋風、浦風、

不知火、薄雲、口潛八、潛九、潛一、潛二、口潛一四、

潛一五、口鴻、鷗、白鷺、雉、知床、野島、辨天丸

品川沖 萩

浦 萩

二見 松江

大 湊 口春風、初春、初雪、時雨

吳 口韓崎、球磨、伊勢、攝津、口伊吹、

常磐、日進、明石、千代田、駒橋、大和、口村雨、

朝霧、朝潮、白雲、口磯波、浦波、綾波、陽炎、

龍、曙、口潛五、潛三、潛四、口潛一〇、潛一、

潛一二、口潛一三、潛一六、潛一七、口水六八、

水六七、水七〇、水七一、膠州、室戶

大坂 藤

神戶 大井

【大分】 鞍馬

佐世、保 日向、敷島肥前、比叡、出雲、須磨、

北上、沖島、嵯峨、口橋、櫻、桐、口樫、檜、

桃、柳、口野分、霞、白雪、松風、口燕、雁、鶴、

蒼鷹、佐多

【長崎】 木曾

舞 鶴 安藝、薩摩、吾妻、春日、對馬、

阿蘇、見島、口海風、山風、檜、榎、口濱風、

磯風、天津風、時津風、灘風、沙風、太刀風、

口水七五、水七二、水七三、水七四、青島

【鎮海】 口松、杉、柳、柏、口雲雀、鶉、鷺、鶴

【西湖津】 口平戸、最上、口夕立、三日月、夕暮、白露、

口若葉、潮、朝風、子日

【旅順】 口水無月、卯月、長月、菊月、高崎

【馬公】 利根、口梅、楓、楠

【高雄】 新高、桂

【南洋群島】 勝力

【チロチ】 口三笠

【上】 石見、關東

【漢口】 口千歳、宇治、富士

【長沙】 鳥羽

【タラカン】 伏見

洲崎、襟裳

【航海中】

1707

口鹿島、香取(一日古倫母發坡西土へ)
 隅田(五日長沙發漢口へ)
 松山丸(六日二見發)
 野間(八日「タラカン」發德山へ)
 劍崎(十一日横須賀發大湊へ)
 勢山(十一日青島發佐世保へ)
 淀(十一日吳發「トラック」へ)
 多摩(十一日品川沖發吳へ)
 磐手(十二日横須賀發佐世保へ)
 淺間(十二日横須賀發吳へ)
 能登呂(十二日吳發「タラカン」へ)
 霧島(十二日横濱發佐世保へ)
 周防(十二日大分發江田内へ)

○雜款

○郵便物發送先

軍艦明石宛

四月十五日迄到着見込ノモノハ

同 二十日迄 同

共ノ後ハ

吳 佐世保
上海

○特務艦青島行動豫定

地名 著

舞鶴

四月十五日 發

佐世保	四月十七日	二十日
吳山	二十二日	三十日
德世保	三十日	五月三日
舞鶴	五月四日	七日
浦鹽	九日	十八日
小樽	二十一日	二十四日
	二十六日	

○特務艦知床行動豫定

地名 著	發
横須賀	四月二十八日
タラカン	五月五日
佐世保	五月十六日

○事務所

第三十一潜水艦艇裝員事務所ヲ神戸川崎造船所内ニ設置ス(附第三十一潜水艦艇裝員長)

○外國出張

歐米各國へ出張ヲ命セラレタル海軍技師稻葉愿ハ來ル十五日横濱出港ノ香取丸ニテ出發ノ豫定

○「ベスト」發生報

十一日長春附屬地苦力一名疑似「ベスト」發生

海軍公報第二千五百五十八號 大正十年四月十三日

三二八

休職海軍技手早乙女嘉兵衛ハ本月八日死去セリ

(附録三頁、部内限三頁)

1709

海軍公報附錄

大正十年四月十三日(本)
海軍大臣官房

大正十年四月 靖國神社合祀者所屬別一覽表

所屬	士官	特務士官	准士官	下士官	兵	判任文官	計
海軍軍令部	一						一
臨時海軍派遣隊	一						一
臨時海軍無線電信隊	六		一	三三	三		四三
第三艦隊	一		一	二	六		一〇
第二特務艦隊					一		一
臨時南洋群島防備隊					一		一
海軍艦政本部						一	一
舞鶴鎮守府		一					一
總計	九	一	二	三五	一一	一	五九

海軍公報附錄 大正十年四月十三日

大正十年四月 靖國神社合祀者府縣別一覽表

府縣名	士官	特務士官	准士官	下士官	兵	判任文官	計
新瀉	一			五	一		七
秋田				五	二		七
長野				四	一		六
山形				五			五
岐阜				四	一		五
兵庫	一	一					三
佐賀	一		一				二
和歌山	一			二			二
福岡				一			二
福岡				二			二
富山				二			二
滋賀				三			三

海軍公報附録 大正十年四月十三日

總計	長崎	枋木	奈良	高知	廣島	愛知	石川	島根	鳥取	熊本	京都	東京	鹿兒島
九	一					一				一		一	
一													
二													
三五							一	一	一		一		
一一			一	一	一								二
一		一											
五九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二

三

1712

○通 牒

經物第一〇八號
契約擔任官ノ件ニ關シ左ノ通通知セリ
右通知ス

大正十年四月十四日
海軍省 經理局

經物第一〇一號

大正十年四月九日
海軍省 經理局長

海軍燃料廠長宛

貴廠契約擔任官ハ海軍燃料廠令第九條同第二十一條ニ依リ會計部長、探炭部ニ於テハ同部長ト解釋致候
右爲念通知ス

經物第一〇三號

大正十年四月九日
海軍省 經理局長

海軍火藥廠長宛

貴廠契約擔任官ハ海軍火藥廠令第十二條ニ依リ自今會計部長ト解釋致候
右爲念通知ス

○辭 令

海軍省軍務局事務賜託

大正十年四月靖國神社臨時大祭委員ヲ命ス(明石昇太郎)

○艦 船 所 在

指定ヲ要セス

○四月十四日午前十時調

【橫須賀】 口金剛、口龍驤、口龍皇、口山城、口生駒、

口朝日、口榛名、口八雲、口若宮、口津輕、口秋津洲、口橋立、口滿洲、

口武藏、口千早、口龍田、口榎、口楡、口榊、口栗、口榎、口梨、

口竹、口樅、口天龍、口澤風、口峯風、口矢風、口沖風、

口吹雪、口如月、口有明、口初霜、口神風、口響、口追風、口彌生、

口夕風、口疾風、口秋風、口浦風、口不知火、口薄雲、口潛八、

口潛九、口潛一、口潛二、口潛三、口潛四、口潛五、口潛六、口潛七、

口潛八、口知床、口野島

【品川沖】 薄

【羽根田沖】 口長門、口扶桑

【浦賀】 萩

【三見】 口松江

【大湊】 口春風、口初雲、口時雨

【吳】 口多摩、口球磨、口韓崎、口伊勢、口攝津

伊吹、常磐、日進、明石、千代田、駒橋、周防、大和、口村雨、朝霧、朝潮、白雲、口磯波、浦波、綾波、陽炎、隴、曙、口潜五、潜三、潜四、口潜一〇、潜一、潜二、潜三、潜六、潜一七、口水六八、水六七、水七〇、水七一、膠州、室戸

【大 阪】 藤

【神 戸】 大井

【大 分】 鞍馬
佐世保、日向、敷島、肥前、比叡、出雲、須磨、北上、沖島、嵯峨、口橋、櫻、樺、桐、口樫、檜、桃、柳、口野分、靛、白雪、松風、口燕、雁、鶴、蒼鷹、佐多

【長 崎】 木曾

【舞 鶴】 安藝、薩摩、吾妻、春日、對馬、阿蘇、見島、口海風、山風、檜、榎、口濱風、磯風、天津風、時津風、灘風、沙風、太刀風、口水七五、水七二、水七三、水七四、青島

【鎮 海】 口松、杉、神、柏、口雲雀、鶉、鷺、鶴

【西 湖 津】 口平戸、最上、口夕立、三日月、夕暮、白露、口若葉、潮、朝風、子日

【旅 順】 口水無月、卯月、長月、菊月

【馬 公】 利根、口梅、楓、楠

【高 雄】 新高、桂

【南洋群島】 松山丸

海軍公報第二千五百五十九號 大正十年四月十四日

【上 海】 口千歲
【漢 口】 鳥羽
【長 沙】 伏見
【タラカン】 洲崎、襟裳

【航 海 中】

口鹿島、香取(一日古倫母發坡西土へ)
隅田(五日長沙發漢口へ)
野間(八日「タラカン」發徳山へ)
劍崎(十一日横須賀發大湊へ)
勞山(十一日青島發佐世保へ)
淀(十一日吳發「トラツク」へ)
磐手(十二日横須賀發佐世保へ)
淺間(十二日横須賀發吳へ)
能登呂(十二日吳發「タラカン」へ)
霧島(十二日横濱發佐世保へ)
高崎(十三日旅順發青島へ)
宇治(十三日上海發漢口へ)
三笠(十三日「チユチ」發「アダミ」河口へ)
葵(十三日横須賀發橋浦へ)
富士(十三日上海發佐世保へ)
勝力(十三日「サイパン」發二見へ)

○ 雜 款

○委任事項

吳海軍工廠長ハ海軍工廠處務細則第十一條ノ規定ニ依リ左記事項ヲ除クノ外其ノ所掌事項ヲ吳海軍工廠廣支廠長ニ委任セリ

- 一、判任官以上ノ人事ニ關スル事項
- 二、例規例則ノ制定及改廢ニ關スル事項
- 三、將來計畫ニ關スル事項
- 四、其ノ他重要ト認ムル事項

○郵便物發送先

第一水雷戰隊司令部 龍田、第二十六驅逐隊(梅、楡、柿、栗)、第二十五驅逐隊(榊、梨、竹、樅)宛

四月十五日迄到着見込ノモノハ 横須賀

同 二十日迄 同 芝罘三田郵便局

其ノ後ハ 佐世保

元臨時青島防備隊殘務整理事務所宛

四月二十五日迄到着見込ノモノハ 支那青島

其ノ後ハ 佐世保水交支社内

軍艦武藏宛

四月二十日迄到着見込ノモノハ 根室

其ノ後ハ 横須賀

(部内限一頁)

海軍公報

第二千五百六十號

海軍大臣官房

大正十年四月十五日(金)

○令達

官房第一三二九號

（補）八正十年官房ニテ

汽船芝罘丸ニ設置ノ第三海軍軍用郵便所ヲ汽船筑前丸

移シ大正十年四月十五日ヨリ其ノ事務ヲ開始ス

大正十年四月十五日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

○通牒

官房第一三〇六號ノ二

大正十年四月十五日

海軍省副官 野村吉三郎

横須賀、吳鎮守府 參謀長殿
第一、第二艦隊

帆船萬徳丸搜索出願ニ關スル件

右ニ關シ別紙寫ノ通り願出候條御了承ノ上可然御取計

相成度

右申進ス

(別紙)

船舶搜索御願

一、船種 船名 帆船萬徳丸

一、船籍 港 兵庫縣武庫郡西宮町

一、總噸數 一五五噸

一、登簿噸數 一三九噸

一、所有者氏名 大阪市西區仲之町一丁目七十番地

一、住所氏名 松本喜代藏

一、船長住所氏名 兵庫縣津名郡家村

一、乘組員 船長共七名 志智爲藏

一、發港地 東京市品川町

一、支向地 筑前若松港

一、寄港地 伊豆國下田港、柿崎港

一、網具ノ裝置 スクローナ

一、外板ノ塗色 黒

右船舶ハ大正十年二月二十日東京ニ於テ東京砲兵工廠
出ダライ粉百八十噸ヲ搭載シ同日東京出帆大正十
年二月二十三日伊豆國柿崎港ニ寄航シ三月十一日同所
出帆致シ三月十二日頃三河國大山沖ヲ航行シタル形跡

海軍公報第二千五百六十號

大正十年四月十五日

三二三

大阪市西區仲之町一丁目七十番地
大正十年四月八日
海軍大臣男爵 加藤友三郎殿

經衣第三四號
本年三月經衣第二五號大正十年度被服物品代價表第一
種消耗品ノ部中運用術章ノ次ニ航空術章ヲ、貸與品ノ
部中禮裝用運用術章ノ次ニ禮裝用航空術章ヲ左ノ如ク
加フ

航空術章	個	〇九〇
禮裝用航空術章	個	二〇〇

同表第一種消耗品ノ部中掌記術章ノ項及貸與品ノ部中
禮裝用掌記術章ノ項ヲ削ル

大正十年四月十五日
海軍省經理局長 志 佐 勝

○辭令

恩賜研學資金受賞者陸軍委員ヲ命ス
海軍武功調査委員ヲ命ス
大正三年乃至九年戰役從軍記章授與調査委員ヲ命ス
戰捷記章授與調査委員ヲ命ス
陸海軍行賞事務協定特別委員ヲ命ス(海軍省)
海軍機關中佐 赤堀 研吉
第五部勤務ヲ命ス(海軍艦政本部)
海軍大尉 河村 文平
第七部勤務ヲ命ス(海軍艦政本部)

○艦船所在

四月十五日上午十時調
【横須賀】 口金剛、口筑摩、矢矧、陸奥、山城、生駒、朝日、榛名、八雲、若宮、津輕、秋津洲、橋立、滿州、千早、龍田、龍梅、檜、栲、栗、樫、梨、竹、樅、天龍、澤風、峯風、矢風、沖風、口羽風、島風、松風、桑、椿、楓、吹雪、如月、有明、初霜、神風、響、追風、彌生、夕風、疾風、秋風、浦風、不知火、薄雲、口潛八、潛九、潛一、潛二、口潛一四、潛一五、口鴻、鷗、白鷹、雉、知床、野島

品川沖 薄
羽根田沖 口長門、扶桑

浦 賀 萩
大 湊 春風、初春、初雪、時雨、劍埼
大 泉 多摩、球磨、韓崎、伊勢、攝津、
 伊吹、淺間、常磐、日進、明石、千代田、駒橋、周防、
 大和、口村雨、朝霧、朝潮、白雲、磯波、浦波、
 綾波、陽炎、臘、曙、潜五、潜三、潜四、潜一〇、
 潜一、潜二、潜一三、潜一六、潜一七、
 水六八、水六七、水七〇、水七一、膠州、室戸
大 阪 藤
神 戸 大井
大 分 鞍馬
長 崎 木曾
長 崎 安藝、薩摩、吾妻、春日、對馬、
 阿蘇、見島、海風、山風、檜、嶺、磯風、
 磯風、天津風、時津風、灘風、汐風、太刀風、
 水七五、水七二、水七三、水七四、青島
城 津 口松、杉、榊、口雲雀、鶉、鷺、
 平戸、最上、夕立、三日月、夕暮、白露、
 若菜、潮、朝風、子日
旅 順 口水無月、卯月、長月、菊月
馬 公 新高、利根、口梅、楓、楠

高 雄 桂
南 洋 群 島 松山丸
上 海 石見、關東
漢 口 千歳
長 沙 鳥羽
タ ラ カ ン 伏見
 洲崎、襦袢
航 海 中
 口鹿島、香取(一日古倫母發坡西土)
 岡田(五日長沙發漢口)
 野間(八日「タラカン」發徳山)
 淀(十一日吳發「トラツク」)
 磐手(十二日橫須賀發佐世保)
 能登呂(十二日吳發「タラカン」)
 高崎(十三日旅順發青島)
 宇治(十三日上海發漢口)
 三笠(十三日「オチ」發「ナダミ」河口)
 富士(十三日上海發佐世保)
 勝力(十三日「サイバン」發二見)
 松江(十四日二見發測量地)
 武蔵(十四日橫須賀發根室)
 口谷風、江風、菊(十四日橫須賀發吳)
 葵(十五日橋浦發吳)

海軍公報第二千五百六十號 大正十年四月十五日

三三五

1719

○雜款

○郵便物發送先

特務艦青島宛

四月二十九日迄到著見込ノモノハ

五月二日迄 同

同 六日迄 同

同 十七日迄 同

其ノ後ハ

軍艦北上宛

本日以後

第二水雷戰隊司令部宛

四月十七日迄到著見込ノモノハ

其ノ後ハ

第一艦隊司令部、長門宛

四月二十日迄到著見込ノモノハ

其ノ後ハ

扶桑宛

四月二十日迄到著見込ノモノハ

同 二十四日迄 同

其ノ後ハ

吳 德 山

佐 世 保

舞 鶴

小 樽

横須賀

横須賀 軍艦北上

同 軍艦北上

東京市芝區 三田郵便局 横須賀

東京市芝區 三田郵便局 大分 吳

○特務艦勞山行動豫定中變更(本月五日)

地名 著 發

青島 四月十四日 四月十一日

佐世保 四月十四日 十九日

青島 二十一日 二十五日

佐世保 二十八日

○南洋交通船泰安丸第一回輸送日割

一、行 先 地 二見、サイバン、トラツク、ヤツ

二、入 港 日 時 四月二十七日入港時刻未定

三、出 港 日 時 未定

四、輸送請求締切 四月二十日正午

五、物件搭載締切 出港時刻ノ二時間前

六、便乗者乗船時刻 右同

備考 一、未定事項ハ決定次第通知ス

二、便乗者ハ出港時刻二時間前迄ニ港務部ニ

集合ノコト

三、復航 バラオ、ヤツブ、トラツク、サイバ

ン、二見、門司、横濱ニ寄港

(横須賀海軍港務部)

○赴任

米國在勸帝國大使館附武官輔佐官ニ補セラレタル海軍

少佐日比野正治ハ五月二十六日横濱出帆ノ「ベレンヤ」丸ニテ赴任ノ豫定

○在外武官宿所

米國在勳帝國大使館附武官輔佐官海軍少佐日比野正治
著任ノ上ハ宿所ヲ左ノ通定ムヘキ旨届出タリ

Lieut-Commander, M. Hibino, I. J. N.
Apt. 55.
The Hillside,
Washington, D. C.
U. S. A.

○「ベスト」發生報

(四月十四日在浦潮真崎海軍少佐電報)
當市支那人部落ニ「ベスト」發生シ軍ハ公務ノ外軍人
軍屬ノ夜外出ヲ禁セリ

○正誤

本月十一日公報附録、官房第一二五九號中正誤

頁行數	誤	正	同	同
一	地金礦石	地金礦石	同	同
二	三菱電氣株式會社 東京市神田區八重洲一丁目	三菱電機株式會社 名古屋市中區島田町五丁目	同	同
三	三菱電氣株式會社 東京市神田區八重洲一丁目	三菱電機株式會社 名古屋市中區島田町五丁目	同	同
四	三菱電氣株式會社 東京市神田區八重洲一丁目	三菱電機株式會社 名古屋市中區島田町五丁目	同	同
五	三菱電氣株式會社 東京市神田區八重洲一丁目	三菱電機株式會社 名古屋市中區島田町五丁目	同	同

海軍公報第二千五百六十號 大正十年四月十五日

(部内限一頁)

三二七

海軍公報

第二千五百六十一號

海軍大臣官房

大正十年四月十六日(土)

○通牒

官房第一〇九號ノ四

大正十年四月十六日

海軍次官 井川 謙 治

横須賀、吳鎮守府司令長官殿
第一、第二艦隊

外國船大名號不開港場寄港ノ件出願ニ付別紙ノ趣旨ニ依リ許可方遞信入臣ノ照會ニ應シタル末令般該免狀交付セラレタリ

別紙ハ客年四月八日海軍公報第二千二百六十號掲載ノモノニ同シ但シ免狀番號ハ七〇三號ニシテ免狀有効期間ハ本年四月十日ヨリ大正十一年四月十四日迄ナリ

官房第一三五一號

大正十年四月十六日

海軍省副官 野村吉三郎

艦隊、鎮守府、要港部參謀長(參謀)殿

海軍公報第二千五百六十一號 大正十年四月十六日

汽船「トール」漁業許可効力消滅ノ件
本件ニ關シ左記ノ通農商務省水産局ヨリ通知アリタリ
右通牒ス

記

東京府東京市赤坂區新町三丁目二十七番地久良知重治
ニ許可シタル左記汽船ハ今般他人ニ讓渡シタルヲ以テ許可効力ヲ失ヒタリ

許可番號 船名 記事

第六十五號 喜久丸

大正十年二月海軍公報
第二千五百一十一號參照

○辭令

○大正十年四月十五日

竹元 末納
東 太一
田尻 壯一
中村 利彦

三三九

1722

(各通) 西江 作太郎
安田 義明
平岡 仁一
梯 一志
小西 政太郎
西村 與一郎

大正十年五月施行ノ海軍生徒採用試験臨時委員ヲ命
ス(明海軍省)

任海軍豫備一等兵曹

青柳 倍男
木下 晋一
中 江 中
小橋 武雄
寺島 修一
三宅 正實
尾崎 吾六

任海軍豫備一等機關兵曹

海軍軍醫少佐 真下 綠三郎

大正十年五月施行ノ海軍生徒採用試験臨時委員ヲ命
ス(明海軍省)

海軍砲術學校柔道教員囑託
磯ヶ谷 宇太郎

自今報酬月額參拾五圓ヲ給ス(明海軍教育本部)

海軍兵學校劍術教員囑託
守口 福三郎

自今部内限リ判任官ヲ以テ待遇セラレ(明海軍教育
本部)

○艦船所在

指定ヲ要スル艦船

○四月十六日午前十時調

【横須賀】 山口長門、扶桑、筑摩、矢矧、口金剛、
陸奥、山城、生駒、朝日、榛名、八雲、若宮、津輕、
秋津洲、橋立、滿洲、千早、龍田、梅、榆、柿、
栗、樅、梨、竹、樅、天龍、澤風、峯風、
矢風、沖風、羽風、島風、櫻、松、楳、
吹雪、如月、有明、初霜、神風、響、追風、彌生、
夕風、疾風、秋風、浦風、不知火、漣雲、潛八、
潛九、潛一〇、潛一一、潛一二、潛一三、潛一四、潛一五、
潛一六、潛一七、潛一八、水六八、水六七、水七〇、水七十一、
膠州、
【品川沖】 萩
【大湊】 春風、初春、初雪、時雨、劍崎、
吳、多摩、球磨、韓崎、伊勢、攝津、
伊吹、淺間、常磐、日進、明石、千代田、駒橋、周防、
大和、村雨、朝霧、朝潮、白雲、磯波、浦波、
綾波、谷風、江風、菊、葵、陽炎、曙、潛三、
潛四、潛一〇、潛一一、潛一二、潛一三、潛一四、
潛一七、水六八、水六七、水七〇、水七十一、膠州、
【大板】 藤波、大板、
【神戶】 大井、
大井、
大井、

【大分】鞍馬
 【佐世保】日向、敷島、肥前、霧島、比叡、(磐手)
 出雲、須磨、北上、沖島、嵯峨、巨橋、櫻、樺、桐
 雁、鶴、蒼鷹、佐多、勞山
 【長崎】木曾
 【舞鶴】安藝、薩摩、吾妻、春日、對馬、
 阿蘇、見島、(海風、山風、檜、榎、巨濱風、
 磯風、天津風、時津風、灘風、汐風、太刀風、
 巨水七五、水七二、水七三、水七四)
 【鎮海】巨松、杉、榊、巨雲雀、鶉、鶯、鶴
 【旅順】巨水無月、卯月、長月、菊月
 【青島】高崎
 【馬公】新高、利根、巨梅、楓、楠
 【高雄】桂
 【南洋群島】松山丸
 【(インドネシア)】三笠
 【(ペラトスカヤ)】石見、關東
 【上】千歳
 【漢口】鳥羽
 【長沙】伏見
 【タラカン】洲崎、標雲

○雜款
 ○郵便物發送先
 軍艦滿州宛
 四月二十一日迄到着見込ノモノハ 横須賀
 同 二十五日迄 同 大湊
 同 二十八日迄 同 横濱
 其ノ後ハ 横須賀
 岡田(五日長沙發漢口へ)
 野間(八日「タラカン」發徳山へ)
 淀(十一日吳發「トラック」へ)
 能登呂(十二日吳發「タラカン」へ)
 宇治(十三日上海發漢口へ)
 富士(十三日上海發佐世保へ)
 勝力(十三日「サイバン」發二見へ)
 松江(十四日二見發測量地へ)
 武藏(十四日横須賀發根室へ)
 青島(十五日舞鶴發佐世保へ)
 平戸、最上、巨夕立、三日月、夕暮、白露、巨若葉、湖、
 朝風、子日(十五日城津發清津へ)

【航海中】
 巨鹿島、香取(一日古倫母發坡西土へ)

海軍公報第千五百六十一號 大正十年四月十六日 (部内限二頁) 三三一

○十二 海軍諸例第十二回改正(大正十年一月一日)挿換紙
 右ハ本月十五日ヲ以テ發送ヲ了セリ(海軍大臣官房)

海軍公報

第二千五百六十二號

海軍大臣官房

大正十年四月十八日(月)

○辭令

○大正十年四月十六日

任海軍編修書記
給八級俸

海津 吉之助

(各通)

任海軍技手

北原 五郎
吉田 謙次郎

給六級俸

(各通)

任海軍技手

大溝 豊次郎
秋山 喜真太

給月俸七拾圓

海軍編修書記

海津 吉之助

海軍大臣官房附ヲ命ス

海軍技手 神戶 諒

(各通)

海軍造兵廠勤務ヲ免シ海軍造兵廠附ヲ命ス

海軍技手 北原 五郎

(各通)

海軍造兵廠勤務ヲ命ス

同 吉田 謙次郎

海軍公報第二千五百六十二號

大正十年四月十八日

三三三

1725

(大出)

(各通)

海軍技手 大溝 豊次郎

同 秋山 喜真太

海軍建築本部勤務ヲ命ス(以上同上海軍省)

海軍一等兵費勳八等 關根 藤太郎

海軍大學校事務取扱ヲ囑託ス但報酬月額五拾圓ヲ給

シ部内限リ判任官ヲ以テ待遇セラル(同上海軍教育本部)

海軍書記 鈴木 一郎

第三課附ヲ命ス(同上水路部)

○艦船所在

▲印ハ(ハホ)ノ指定ヲ要セズ

○四月十八日午前十時調

【横須賀】 口金剛、陸奥、山城、生駒、朝日、榛名、

八雲、若宮、津輕、秋津洲、橋立、滿州、千早、

▷天龍、▷浮風、▲峯風、▲矢風、沖風、▷羽風、島風、

▷櫻、▲桑、椿、棋、▷吹雪、如月、有明、初霜、神風、

▷響、▷追風、▷彌生、▷夕風、疾風、秋風、浦風、

不知火、薄雲、▷潜八、潜九、潜一、潜二、▷潜一四、

潜一五、▷潜、▷白鷹、雉、野島、鏡前丸

【品川沖】口長門、扶桑、ト筑摩、矢矧、ト龍田、

口樞、檜、柿、栗、口榎、梨、竹、樺、薄

浦 賀 萩

【二見】勝力

【大 濠】口春風、初春、初雪、時雨、劍埼

【吳】伊勢、攝津、伊吹、淺間、常磐、日進、

球磨、千代田、駒橋、周防、大和、口村雨、朝霧、

朝潮、白雲、口磯波、浦波、綾波、口谷風、江風、

菊、葵、陽炎、朧、曙、口潛五、潛三、潛四、口潛一〇、

潛一二、潛一二、口潛一三、潛一六、潛一七、口水六八、

水六七、水七〇、水七一、膠州、室戸

【大 阪】藤

【神 戶】大井

【大 分】鞍馬

【佐 伯】ト韓崎

【佐世保】日向、敷島、肥前、霧島、比叡、磐手、

出雲、須磨、富士、沖島、嵯峨、口橘、櫻、樟、桐、

口櫻、檜、桃、柳、口野分、靛、白雪、松風、口燕

廬、鶴、蒼鷹、佐多、勞山、青島

【長 崎】木曾

【舞 鶴】安藝、薩摩、吾妻、春日、對馬、

阿蘇、見島、口海風、山風、檜、榎、口濱風、

磯風、天津風、時津風、灘風、沙風、太刀風、

口水七五、水七二、水七三、水七四

【鎮 海】口松、杉、楠、柏、口雲雀、鶉、鷺、鶴

【清 津】口平戸、最上、口夕立、三日月、夕暮、白露、

口若葉、潮、朝風、子日

【旅 順】口水無月、卯月、長月、菊月

【馬 公】新高、利根、口梅、楓、楠

【高 雄】桂

【南洋群島】松山丸

【亞 港】ト三笠

【上 海】石見、關東

【漢 口】ト千歳

【長 沙】鳥羽

【タラカン】伏見

洲崎、襟裳

【航海中】

口鹿島、香取(一日古倫母發坡西土)()

隅田(五日長沙發漢口)()

野間(八日「タラカン」發德山)()

淀(十一日吳發「トラク」)()

能登呂(十二日吳發「タラカン」)()

宇治(十三日上海發漢口)()

松江(十四日二見發測量地)()

武藏(十四日橫須賀發根室)()

ト多摩(十六日吳發伊豫灘)()

北上(十六日佐世保發橫須賀)()

知床(十六日横須賀發「タラカン」へ)
明石(十七日吳發佐世保へ)
高崎(十七日青島發佐世保へ)

○雜款

○郵便物發送先
特務艦知床宛

本日以後

佐世保郵便局留置

軍艦駒橋宛

四月二十三日迄到着見込ノモノハ 大分縣 大分
其ノ後ハ 吳

第五戰隊司令部、三笠宛

四月二十二日迄到着見込ノモノハ 小樽郵便局氣付
其ノ後ハ 敦賀郵便局氣付

特設運送船辨天丸宛

當分ノ間 横須賀海軍港務部内辨天丸殘務整理係

○出港期

南洋交通船筑前丸横須賀出港時刻ヲ四月十九日午後一
時ニ決定ス

南洋交通船泰安丸第一回輸送日割中出港日時ヲ五月一
日(時刻未定)ト決定ス

(横須賀海軍港務部)

○改姓

海軍主計大尉小林信夫ハ婿養子離縁ノ上福島縣平民加
藤家へ入籍ノ旨本月十五日届出タリ

○正誤

一昨十六日通牒欄官房第一三五二號件名中許方効力ハ
許可効力ノ誤

海軍公報

第二千五百六十三號

海軍大臣官房

大正十年四月十九日(火)

1728

○令達

官房第一三八八號

大正九年六月官房第二二八八號海軍共濟組合各廳長保管金額へ左記ノ通追加ス

大正十年四月十九日

海軍大臣男爵加藤友三郎

記

吳海軍工廠廣支廠

五〇〇圓

○辭令

東京外國語學校教授 片山 寛

海軍大學校ニ於ケル英語學教授囑託ヲ解ク

東京外國語學校教授 千葉 勉

海軍大學校ニ於ケル英語學教授ヲ囑託シ報酬月額五拾五圓ヲ贈與ス(以上海軍省)

佐世保鎮守府在籍

海軍船匠特務中尉 柴田 桑作

自今兵籍ヲ横須賀鎮守府ニ指定ス

海軍公報第二千五百六十三號

大正十年四月十九日

三三七

東京高等師範學校教授 高野 佐三郎
海軍機關學校ニ於ケル劍道教授ヲ囑託ス(以上海軍省)

○艦船所在

指印ハハホヘ
指定ヲ要セス

○四月十九日午前十時調

【横須賀】 口金剛、陸奥、山城、生駒、朝日、榛名、

八雲、若宮、秋津洲、橋立、滿州、千早、北、

口澤風、峯風、矢風、沖風、口羽風、島風、口樺

桑、椿、楓、口吹雪、如月、有明、初霜、神風、響

口追風、彌生、夕風、疾風、秋風、浦風、不知火、

薄雲、薄、口潜八、潜九、潜一、潜二、口潜一四、

潜一五、口鴻、鷗、白鷹、雉、野島、口銃前丸

【品川沖】 口長門、扶桑、口銃摩、矢矧、口龍田、

口梅、榆、柿、栗、口樞、梨、竹、從

【浦賀】 萩

【大湊】 口春風、初春、初雪、時雨、劍埼

【根室】 武藏

【吳】 口多摩、球磨、伊勢、攝津、伊吹、淺間、

常磐、日進、千代田、周防、大和、村雨、朝霧、
 朝潮、白雲、磯波、浦波、綾波、谷風、江風、
 菊、葵、陽炎、曉、曙、潜一〇、潜一〇〇、
 潜一〇〇〇、潜一〇〇〇〇、水六八、水六七、水七〇、水七一、
 膠州、室戶

【大】 阪 藤

【神】 戸 大井

【大】 分 鞍馬

【佐】 伯 鞍馬

【佐】 世保 日向、敷島、肥前、霧島、比叡、磐手、
 出雲、須磨、明布、富士、沖島、嵯峨、巨橋、櫻、樺、桐、
 櫻、檜、桃、柳、野分、霞、白雪、松風、雁、鶴、
 蒼鷹、佐多、勞山、青島

【長】 崎 木曾

【舞】 鶴 安藝、薩摩、吾妻、春日、對馬、
 阿蘇、見島、海風、山風、檜、榎、濱風、
 磯風、天津風、時津風、灘風、汐風、太刀風、
 水七五、水七二、水七三、水七四

【鎮】 海 松、杉、榊、柏、雲雀、鶯、鶴

【清】 津 平戸、最上、夕立、三日月、夕暮、白露、
 若葉、潮、朝風、子日

【旅】 順 水無月、卯月、長月、菊月

【馬】 公 新高、梅、楓、楠

【高】 雄 桂

【枋】 利根

【南洋群島】 松山丸、石見、關東

【海】 千歲

【漢】 口 鳥羽

【長】 沙 伏見

【塔】 カン 洲崎、櫻裳

【坡】 西土 鹿島、香取

【航海中】

隅田(五日長沙發漢口)

野間(八日「タラカン」發德山)

能登呂(十二日吳發「タラカン」)

宇治(十三日上海發漢口)

松江(十四日二見發測量地)

知床(十六日橫須賀發「タラカン」)

高崎(十七日青島發佐世保)

駒橋(廿三日「潜一六」廿七日「十八」日吳發宇和島)

天龍(十八日橫須賀發吳)

津輕(十九日橫須賀發清水)

勝力(十九日二見發橫須賀)

○ 雜 款

○ 旗艦變更

第二水雷戰隊司令官ハ本月十八日旗艦ヲ天龍ヨリ北上ニ變更セリ

○ 郵便物發送先

軍艦須磨宛
當分ノ間

佐世保

○ 南洋交通船泰安丸行動豫定

地名	著	發
横濱	四月二十七日	四月二十七日
横須賀	五月四日	五月一日
二見	五月八日	五月十四日
サイバン	五月十三日	五月十八日
トラツク	五月二十二日	五月二十三日
ヤツブ	五月二十四日	五月二十九日
バラオ	五月二十九日	六月一日
アンガウル	六月三日	六月三十一日
バラオ	六月五日	六月三日
ヤツブ	六月七日	六月五日
ウオレア	六月十五日	六月十五日
トラツク	六月十七日	六月十五日

サイバン	十三日	十四日
二見	十八日	十八日
門司	二十二日	二十三日
横濱	二十六日	

○ 在外武官宿所

獨國駐在海軍主計少佐二村光三ノ宿所ハ自今荒城大使館附武官氣付トス

○ 「ベスト」發生報

(四月十六日在浦鹽眞崎海軍少佐電報)
當地「ベスト」ハ益々蔓延シ判明セル患者二十名ニ達シ既ニ「カレイスカヤ」街ニモ眞症患者二名發生ス但シ總テ支那人ノミナリ

○ 正誤

四月十一日公報附錄令達申株式會社住友鑄鋼所トアルハ株式會社住友製鑄所ノ誤

海軍公報

第二千五百六十四號

海軍大臣官房

大正十年四月二十日(水)

○ 辭令

海軍砲術學校劍術教員ヲ囑託ス

久米 正直

但報酬月額參拾五圓ヲ給シ部内限リ判任官ヲ以テ待
遇セラル(海軍教育本部)

研究部附ヲ命ス

海軍技手 神 戸 諒

製造部附ヲ命ス

海軍技手 阿部 末吉

研究部勤務ヲ命ス

海軍技手 北原 五郎

○ 艦船所在

指定ヲ要セス

○ 四月二十日午前十時調

【横須賀】 口金剛、陸奥、山城、生駒、朝日、榛名、
八雲、若宮、秋津洲、橋立、滿州、千早、ト北上、
巨澤風、峯風、矢風、沖風、口羽風、島風、口櫻、
桑、椿、楓、口吹雪、如月、有明、初霜、神風、響、
口追風、彌生、夕風、疾風、秋風、浦風、不知火、

海軍公報第二千五百六十四號

大正十年四月二十日

三四一

薄雲、薄、口潜八、潜九、潜一、潜二、口潜一四、
潜一五、口潜、白鷹、雉、野島、
【品川沖】 口長門、扶桑、口筑摩、矢矧、口龍田、
口梅、榆、柿、栗、口樞、梨、竹、縦、
【浦賀】 萩、
【清水】 津輕、
【大湊】 口春風、初春、初雪、時雨、劍埼、
【根室】 武藏、
【吳】 口多摩、球磨、伊勢、攝津、伊吹、淺間、
常磐、日進、千代田、周防、大和、口村雨、朝霧、
朝潮、白雲、口磯波、浦波、綾波、口谷風、江風、
菊、葵、陽炎、隴、曙、口潜五、潜三、潜四、口潜一〇、
潜一、潜二、口水六八、水六七、水七〇、水七一、
膠州、室戶、

【大坂】 藤、
【神戶】 大井、
【徳山】 野間、
【宇和島】 駒橋、口潜一三、潜一六、潜一七、
【大分】 鞍馬、
【佐伯】 口韓崎、
【佐世保】 日向、敷島、肥前、霧島、比叡、磐手、

1731

出雲、須磨、明石、沖島、嵯峨、巨橋、櫻、樺、桐、
口櫻、檜、桃、柳、口野分、萩、白雪、松風、口燕、
雁、鶴、蒼鷹、佐多、青島

【長】 楠 木曾

【舞】 鶴 安藝、薩摩、吾妻、春日、對馬、
阿蘇、見島、口海風、山風、檜、榎、口濱風、
磯風、天津風、時津風、灘風、汐風、太刀風、
口水七五、水七二、水七三、水七四

【鎮】 海 巨松、杉、榊、柏、巨雲雀、鶉、鷺、鶴

【旅】 順 巨水無月、卯月、長月、菊月

【馬】 公 新高、口梅、楓、楠

【高】 雄 桂

【枋】 豐 利根

【南洋群島】 松山丸

【へ】 港 石見、關東

【上】 海 千歳

【漢】 口 鳥羽

【長】 沙 伏見

【タラカン】 洲崎、襟裳

【坡西土】 口鹿島、香取

【航海中】

隅田(五日長沙發漢口へ)
淀(十一日見發「タラカン」へ)

能登呂(十二日見發「タラカン」へ)

宇治(十三日上海發漢口へ)

松江(十四日二見發測量地へ)

知床(十六日横須賀發「タラカン」へ)

高崎(十七日青島發佐世保へ)

天龍(十八日横須賀發吳へ)

勝力(十九日二見發横須賀へ)

勞山(十九日佐世保發青島へ)

筑前丸(十九日横須賀發)

三笠(十九日亞港發小樽へ)

富士(十九日佐世保發大阪へ)

平戸、最上、口夕立、三日月、夕暮、白露、口若葉、潮、
朝風、子日(十九日清津發舞鶴へ)

(附録四頁、部内限三頁)

海軍公報附錄

大正十年四月二十日(水)
海軍大臣官房

○辭令 (慰勞賜金)

本欄慰勞賜金ノ項ニ「五〇」トアルハ戰役ノ勤勞ニ依
リ金五十圓ヲ賜與セラレシ者

○横須賀鎮守府

慰勞賜金 海軍官位勳功 氏名
 大正七年一月二十二日 三等機關兵 齋藤 菊三
 五〇 大正七年二月十八日 囑託 東條 治三郎
 五五 大正七年八月四日 元四等機關兵 倉田 春
 四五 大正七年八月二十二日 元二等機關兵 平山 四方
 四〇 大正七年八月二十七日 元三等機關兵 眞 籠 學
 四〇 大正七年十月一日 元三等機關兵 曹勳八等 青木 辰次郎
 八〇 大正七年十月二十四日 元一等機關兵 勳八等 山崎 正之
 六〇

大正七年十二月二十五日 元二等機關兵 榎澤 清
 六〇 大正八年一月五日 元三等水兵 金原 惣吉
 二五 大正八年三月二十八日 元一等兵曹勳七等 高石 柳次郎
 九〇 大正八年五月十二日 元三等機關兵 寺本 雄太郎
 二五 大正八年五月二十六日 元三等機關兵 佐藤 清四郎
 五〇 大正八年七月四日 元二等兵曹 目黒 三郎
 六〇 大正八年七月十日 元一等機關兵 勳八等 佐藤 今朝治
 六〇 大正八年七月十三日 三等水兵 山縣 眞勝
 五〇 大正八年七月十七日 元二等機關兵 須藤 農夫道
 六〇 大正八年七月三十日 元一等水兵 勳八等 金子 常三郎
 七〇 大正八年八月二日

海軍公報附錄 大正十年四月二十日

七〇 元一等機關兵勳八等 齋藤 竹樹

大正八年八月十七日

七〇 一等水兵 宇佐見 靖一

大正八年十月十日

二五 元三等機關兵 武石 光胤

大正八年十月二十五日

二五 元三等水兵 堀場 末治郎

大正八年八月十日

三〇 內藤 鐵次郎

○吳 鎮守府

慰勞賜金 海軍官位勳功 氏 名

大正七年五月二十七日

八〇 三等兵曹勳八等 高島 信光

大正七年七月八日

六〇 元二等水兵 長棟 熊雄

大正七年九月二十二日

五〇 元三等水兵 谷口 石藏

大正七年十一月五日

六〇 元二等水兵 中石 春吉

大正八年一月二十日

七〇 一等水兵 上田 捷

大正八年七月四日

二〇 元四等水兵 花井 兼一

大正八年十月十三日

三〇 元三等水兵 安堂 與吉

大正九年六月十三日

七〇 一等水兵 益川 城

○佐世保鎮守府

慰勞賜金 海軍官位勳功 氏 名

大正六年五月十日

五〇 一等水兵勳八等 伊集院 周昭

大正六年八月七日

九〇 二等機關兵曹勳七等 牧田 福徳

大正七年一月八日

六〇 二等機關兵 小玉 作松

大正七年二月二十七日

六〇 二等機關兵 森 末吉

大正七年八月二十九日

九〇 上等兵曹勳七等 小澤 爲楠

大正八年七月五日

七〇 一等水兵 秋山 留造

大正八年七月九日

五〇 元二等水兵 小野 秀市

大正八年七月二十二日

五〇 三等看護 伊藤 善吉

大正八年九月三十日

四五 元四等機關兵 犬丸 親二

大正九年三月十三日

六〇 大正七年二月二十四日
 八〇 大正七年九月二十八日
 四五 大正七年九月二十八日

二等水兵 小野 虎八
 雇員 井上 俊雄
 松下 政義

〇横須賀鎮守府
 慰勞賜金 海軍官位勳功 氏 名
 大正八年十二月十五日

七〇 一等機關兵 岩崎 三治
 六〇 一等水兵 古張 勝之助
 同 市川 民平
 同 一等機關兵 鹽田 仁兵衛
 同 一等水兵 原 彦吉
 五〇 同 松本 三郎
 四〇 二等機關兵 細越 洗治郎
 同 野口 常吉
 三〇 元三等水兵 熊谷 圓

〇吳鎮守府
 慰勞賜金 海軍官位勳功 氏 名
 六〇 一等機關兵 永田 武
 七〇 一等木工 村川 勘一
 六〇 二等機關兵 齊藤 儀作
 五〇 二等主厨 山崎 作太郎

六〇 一等水兵 高橋 莞示
 五〇 同 鳥橋 鶴藏
 四〇 一等機關兵 畑 善三郎
 四〇 二等水兵 本郷 義雄
 四五 一等機關兵 小川 二一
 一五 二等機關兵 下條 時三郎

〇佐世保鎮守府
 慰勞賜金 海軍官位勳功 氏 名

一〇〇 一等機關兵 曹勳七等 林 民藏
 八〇 一等水兵 勳七等 中村 吉五郎
 七〇 一等水兵 勳八等 紙田 宇八
 五〇 一等機關兵 正田 惣太郎
 同 元一等水兵 田川 東六
 四五 一等水兵 小野 英三

〇舞鶴鎮守府
 慰勞賜金 海軍官位勳功 氏 名
 七〇 一等水兵 中澤 晴治
 五〇 一等機關兵 川住 藤太郎
 六〇 一等水兵 勳八等 佐藤 長三郎
 五〇 一等水兵 村岡 季治

〇削除
 大正十年三月二日海軍公報附錄慰勞賜金辭令欄中左記

ノ通り削除ス

慰勞賜金

吳鎮守府ノ部

海軍官位勳功

氏名

五〇	元三等水兵	谷口	石藏
五〇	元二等水兵	中石	春吉
四〇	同	長棟	熊雄
一五	元四等水兵	花井	兼一
二五	元三等水兵	安堂	與吉

佐世保鎮守府ノ部

八〇	上等兵曹勳七等	小澤	爲楠
三〇	元四等機關兵	犬丸	親二
三〇	元二等水兵	小野	秀市

海軍公報

第二千五百六十五號

海軍大臣官房

大正十年四月二十一日(木)

○辭令

○大正十年四月八日

任海軍技手

德永 顯吉

給月俸七拾圓

○大正十年四月二十日

任海軍技手

瀧川 初治

給月俸七拾圓

任海軍技手

關目 季靜

給月俸七拾圓

與海軍建築部勤務ヲ命ス(謂海軍省)

海軍技手 德永 顯吉

海軍建築本部勤務ヲ命ス

海軍技手 關目 季靜

舞鶴海軍建築部勤務ヲ命ス

海軍書記 山根 隆文

給三級俸

依願免本官

海軍書記 山根 隆文

海軍少佐 奥名 清信

兵食研究調査委員會委員ヲ命ス

海軍軍醫少佐 異下 綠三郎

海軍武官任用委員ヲ命ス

海軍軍醫學生獎勵學生主計學生及海軍造船學生造船學生造兵學生同候補者並生徒志願者身體検査委員ヲ命ス

海軍候補生徒志願者體格検査委員ヲ命ス(以上 謂海軍省)

○艦船所在

▲印ハムナホシ

○四月二十一日午前十時調

【横須賀】 口金剛、陸奥▲、山城、生駒、朝日、榛名▲、

八雲、若宮、秋津洲、橋立、滿州、千早▲、▷北上、

巨港風▲、峯風▲、矢風▲、神風、口羽風、島風、口櫻、

桑、椿、檣、口吹雪、如月、有明、初霜、神風、響、

口追風▲、彌生▲、夕風▲、疾風▲、秋風、浦風、不知火、

海雲、濤▲、口潛八、潛九、潛一、潛二、口潛一四、

潛一五、口鴻、鵬、白鷹、雄、野鳥▲

口龍川、沖▲、口長門、口筑摩、矢矧、▷龍田、口梅、

楡、桃、栗、口鯉、梨、竹、樅

海軍公報第二千五百六十五號 大正十年四月二十一日

三四三

1737

浦賀 萩

大 濠 巨春風、初春、初雪、時雨、劍崎、
吳 多摩、球磨、伊勢、攝津、伊吹、淺間、
常磐、日進、天龍、千代田、周防、大和、
朝霧、朝潮、白雲、巨谷風、江風、菊、葵、陽炎、
龍、曙、巨潜五、巨潜三、巨潜四、巨潜一〇、巨潜一、
巨潜二、巨水六八、水六七、水七〇、水七一、膠州、
室戸

大 阪

藤

神 戶

大井

德 山

野間

大 分

鞍馬

佐 伯

韓崎、駒橋、巨潜一三、巨潜一六、巨潜一七、
巨潜一八、日向、敷島、肥前、霧島、比叡、磐手、
出雲、須磨、明石、沖島、暖峨、巨橋、櫻、樺、桐、
櫻、檜、桃、柳、巨野分、霞、白雪、松風、巨燕、
雁、鶴、蒼鷹、佐多、高崎

長 崎

水會

舞 鶴

安藝、薩摩、吾妻、春日、對馬、
阿蘇、見島、巨海風、山風、檜、榎、巨濱風、
磯風、天津風、時津風、灘風、沙風、太刀風、
巨水七五、水七二、水七三、水七四

鎮 海

巨松、杉、榊、柏、巨雲雀、朝、鷺、鶴

旅 順

巨水無月、卯月、長月、菊月

馬 公

新高、巨梅、榎、楓、楠

紡 織

利根

南洋群島 松山丸
石見、關東
上 海 千歲
漢 口 鳥羽
長 沙 伏見
タラカン 洲崎、櫻雲
坡西士 巨鹿島、香取

航 海 中

岡田(五日長沙發漢口へ)
淀(十一日吳發「トラック」へ)
能登呂(十三日吳發「タラカン」へ)
宇治(十三日上海發漢口へ)
松江(十四日二見發測量地へ)
知床(十六日橫須賀發「タラカン」へ)
勝力(十九日二見發橫須賀へ)
勢山(十九日佐世保發青島へ)
筑前丸(十九日橫須賀發)

三笠(十九日亞港發小樽へ)
富士(十九日佐世保發大阪へ)
平戸、最上、巨夕立、三日月、夕暮、白露、巨若葉、潮、
朝風、子日(十九日清津發舞鶴へ)
青島(二十日佐世保發吳へ)
津輕(二十一日清水發橫須賀へ)

扶桑(二十一日品川沖發大分へ)
磯波、浦波、綾波(二十一日吳發多度津へ)
武藏(二十一日根室發橫須賀へ)

○雜款

○特務艦劍崎行動豫定

地名

著

發

橫須賀

大湊

五月十一日

五月十七日

○事務所撤去

浦賀船渠株式會社内ニ設置中ノ本艦艇裝員事務所ハ四月二十日限り撤去シ爾後艦内ニ於テ執務ス(驅逐艦萩)

海軍公報附錄

大正十年四月二十一日(木)
海軍大臣官房

○雜款

○締盟各國ニ於テハ禮砲答砲施行個所通報(其五)

參照 大正九年海軍公報

第百二十四號附錄
第百三十二號附錄
第百四十六號附錄
第百六十二號附錄

大正十年四月二十一日

海軍省副官 野村吉三郎

一、英國

HOME PORTS :-

- Chatham (Amherst Fort)
- Cork Harbour (Fort Carriden)
- Dover Castle
- East Tilbury (Coalhouse Fort)
- Guernsey (Castle Cornet)
- Jersey (Fort Regent)
- Pembroke Dock (Defensible Barracks)
- Plymouth (The Citadel)
- Portsmouth (The Long Curtain Battery)

- Sheerness (Garrison Point Fort)
- Weymouth (Nothe Fort)

CANADA :-

- Victoria, B. C. (Work Point Barracks)
- Quebec (The Citadel)
- Halifax (The Citadel)

Australia :-

- QUEENSLAND : Brisbane (Queen's Park)
- Thursday Island (Barrack Square)
- NEW SOUTH WALES : Sydney (South Head)
- VICTORIA : Williamstown, Melbourne (Fort Gallipoli brand)
- SOUTH AUSTRALIA : Port Adelaide (Fort Largs)
- WESTERN AUSTRALIA : Fremantle (Artillery Barracks)
- TASMANIA : Hobart (Queen's Battery).
- SOUTH AFRICA : Cape Town (The Castle).
- NEW ZEALAND :-

海軍公報附錄 大正十年四月二十一日

ANGLAND (North Head)
Wellington (Alexandra Military Barracks).

INDIA :-

Calcutta (Fort William).
Bombay (Middle Ground Saluting Battery).
Madras (Fort St. George).
Rangoon (Saluting Battery; Shwe Dagon Pagoda)
Karachi (Manora Battery).

CROWN COLONIES AND PROTECTORATES :-

Adeu (Ras Marbut)
Gibraltar (1. King's Bastion; 2. Flagship of Senior Naval Officer).
Malta (Saluting Battery, Upper Barracca, Valetta).
Sierra Leone (King Tom Battery, Freetown).
Ceylon (Colombo)
Hong Kong (Signal Hill, Kowloon).
Mauritius (Fort Adelaide, Port Louis)
Straits Settlements (Fort Canning, Singapore)
Malay States (Kuala, Trengganu)
Bermuda (1. Hamilton; 2. Port Victoria, St. Georges)
British Guiana (Fort William Frederick, at entrance of Demerara River).
Jamaica (Port Royal, Kingston).

海軍公報

第二千五百六十六號

大正十年四月二十二日

海軍大臣官房

○令達

官房第一四四二號
 來四月二十七日ヨリ同二十九日迄靖國神社臨時大祭舉行相成候ニ付同二十八日(時刻ハ例大祭當日ニ同シ)各艦船部隊學校等ニ於テハ遙拜式ヲ行フヘシ
 追テ來四月三十日同例大祭ニ付遙拜式ヲ行フコトハ例年ノ通ト心得ヘシ

大正十年四月二十二日
 海軍大臣男爵加藤友三郎

官房第一四四三號
 大正十年度歳出科目左ノ通追加及改正ス

大正十年四月二十二日
 海軍大臣男爵加藤友三郎

海軍火藥廠作業會計

海軍公報第二千五百六十六號 大正十年四月二十二日

款	項	目	節	解疏	會計科目 電信略號
(海軍火藥廠) 作業費	(俸給)	休職俸給			サミ
(海軍燃料廠) 作業費	(俸給)	(委任俸給)			メロ
		(判任俸給)			
		兵曹長	兵科		メエ
		兵曹長	機關科		メメ
		主計科	兵曹長		メセ
		兵俸給			メス
		看護兵			メノス

三四七

1742

海軍燃料廠作業費ノ款俸給ノ項委任俸給ノ目中「檢査官」ヲ「副官」ニ改ム

○訓令

自今多摩丸ニ乗組ヘシ 海軍少佐 杉本 美海
海軍少佐 若住誠一郎
自今福勢丸ニ乗組ヘシ(以上謂ニ海軍大臣)

○辭令

○大正十年四月二十一日
任海軍技手 岡村 昇
給四級俸

海軍燃料廠附ヲ命ス(増ニ海軍省)
海軍技手 岡村 昇

○艦船所在

指定ヲ要セス

○四月二十三日午前十時調
【横須賀】 口長門、口金剛、陸奥、山城、生駒、朝日、

標名、八雲、若宮、津輕、秋津洲、橋立、瀧州、千早、
 北、北澤風、峯風、矢風、沖風、口羽風、島風、
 櫻、口追風、彌生、夕風、疾風、秋風、浦風、
 不知火、薄雲、薄萩、口潜八、潜九、潜一、潜二、
 口潜一四、潜一五、口鴻、白鷹、雉、野鳥、
 大 濠、口春風、初春、初雪、時雨、
 小 檜、口三笠
 吳 口多摩、球磨、伊勢、攝津、伊吹、淺間、
 常磐、日進、天龍、千代田、周防、大和、口村雨、
 朝霧、朝潮、白雲、口谷風、江風、菊、葵、陽炎、
 隼、曙、口潜五、潜三、潜四、口潜一〇、潜一一、
 潜一二、口水六八、水六七、水七〇、水七一、膠州、
 室戸

大 阪 藤
 神 戸 大井
 多 度 津 口磯波、浦波、綾波
 德 山 野間
 八 幡 濱 駒橋、口潜一三、潜一六、潜一七
 宇 和 島 鞍馬
 大 分 口韓崎
 佐 世 保 日向、敷島、肥前、霧島、比叡、磐手、
 出雲、須磨、明石、沖島、嵯峨、口橋、櫻、樺、桐、
 口樫、檜、桃、柳、口野分、口野分、白雪、松風、口燕、
 雁、鶴、蒼鷹、佐多、高崎

【長崎】 木會
 【舞鶴】 安藝、薩摩、吾妻、春日、對馬、阿蘇、見島、平戸、最上、夕立、三日月、夕暮、白露、若葉、潮、朝風、子日、海風、山風、檜、榎、濱風、磯風、天津風、時津風、灘風、汐風、太刀風、水七五、水七二、水七三、水七四

【鎮海】 松、杉、檉、柏、雲雀、鶉、鷺、鶴
 【旅順】 水無月、卯月、長月、菊月
 【青島】 勞山
 【馬公】 新高、梅、桂、楓、楠
 【枋寮】 利根
 【南洋群島】 淀、松山丸
 【ベ港】 石見、關東
 【上海】 千歳
 【漢口】 鳥羽
 【長沙】 伏見
 【タラカン】 洲崎、襟裳
 【坡西土】 口鹿島、香取

【航海中】
 岡田(五日長沙發漢口へ)
 能登呂(十二日吳發「タラカン」へ)
 宇治(十三日上海發漢口へ)
 松江(十四日二見發測量地へ)

海軍公報第二千五百六十六號 大正十年四月二十二日

知床(十六日横須賀發「タラカン」へ)
 勝力(十九日二見發横須賀へ)
 筑前丸(十九日横須賀發)
 富士(十九日佐世保發大阪へ)
 青島(二十日佐世保發吳へ)
 扶桑(二十一日品川沖發大分へ)
 武藏(二十一日根室發横須賀へ)
 劍崎(二十一日大湊發横須賀へ)
 筑摩(二十一日品川沖發舞鶴へ)
 矢矧(二十一日品川沖發吳へ)
 龍田(梅、榆、柿、栗、榲、梨、竹、樅(二十一日品川沖發佐世保へ))

○ 雜 款

○郵便物發送先
 驅逐艦萩宛
 四月二十八日迄ニ到着見込ノモノハ 横須賀
 其ノ後ハ 吳

○監督官更迭
 内地造船造兵監督官左ノ通更迭ス(四月二)
 駐在地 舊監督官 新監督官
 浦賀 金丸機關大佐 飯訪造船大佐

○「ベスト」ト決定

（四月二十日旅順要港部軍醫長電報）

十九日哈爾濱ヨリ長春ニ來リシ支那人一名二十日疑似

「ベスト」ト決定

（四月二十一日旅順要港部軍醫長電報）

公主嶺ニ遺棄セル支那人一死體二十日疑似「ベスト」

ト決定

（部内限三頁）

海軍公報

第二千五百六十七號

海軍大臣官房

大正十年四月二十三日(土)

○通牒

官房第一四五七號

大正十年四月二十三日

海軍省副官 野村吉三郎

各廳長 殿

石見關東宛普通郵便物ハ此際五月一日函館發日露漁業株式會社汽船便ニテ托送スルコトナレリ送附先ハ函館郵便局氣付トス
右通牒ス

○辭令

海軍大尉 古田中 博
海軍軍醫少佐 丸山 博
同 稻原 廣

大正十年五月施行ノ海軍生徒採用試驗臨時委員ヲ命ス

(各通) 海軍軍醫大佐 於保 熊雄
海軍軍醫少佐 村田 文雄

大正十年五月施行ノ海軍生徒採用試驗臨時委員ヲ免ス
(以上均海軍省)

○艦船所在

指定ヲ要セス

○四月二十三日午前十時調

【横須賀】 口長門、口金剛、陸奥、山城、榛名、八雲、若宮、津輕、勝力、秋津洲、橋立、千早、口北上、口澤風、嶽風、矢風、沖風、口羽風、島風、口樺、桑、椿、楓、口吹雪、如月、有明、初霜、神風、響、口追風、彌生、夕風、疾風、秋風、浦風、不知火、薄雲、薄萩、口潜八、潜九、潜一、潜二、口潜一四、潜一五、口鴻、白鷹、雉、野島

【山】 生駒、朝日

【大】 濠 口春風、初春、初雪、時雨

【小】 榕 口三笠

【大】 吳 口多摩、球磨、伊勢、攝津、伊吹、淺間、常磐、日進、天龍、千代田、周防、大和、口村雨、朝霧、朝潮、白雲、口谷風、江風、菊、葵、陽炎、颯、曙、口潜五、潜三、潜四、口潜一〇、潜一一、潜一二、口水六八、水六七、水七〇、水七一、膠州、室戶、青島

【大】 阪 富士、藤

海軍公報第二千五百六十七號

大正十年四月二十三日

三五二

1746

【神戶】大井

【德島】野間

【宇和島】鞍馬

【大分】▷韓崎、扶桑、駒橋、▽港一三、港一六、港一七

【佐世保】日向、敷島、肥前、霧島、比叡、磐手、出雲、須磨、明石、沖島、嵯峨、▽橋、櫻、樺、桐、▽檜、檜、桃、柳、▽野分、霞、白雪、松風、▽燕、雁、鶴、蒼鷹、佐多

【長崎】木曾

【舞鶴】安藝、薩摩、吾妻、春日、對馬、阿蘇、見島、▷平戸、最上、▽夕立、三日月、夕暮、白霧、▽若葉、潮、朝風、子日、▽海風、山風、▽檜、▽檜、▽濱風、磯風、天津風、時津風、灘風、汐風、太刀風、▽水七五、水七二、水七三、水七四

【鎮海】▽松、杉、榊、柏、▽雲雀、鶉、鷺、鵲

【旅順】▽水無月、卯月、長月、菊月

【青島】勞山

【馬公】新高、▽梅、桂、楓、楠

【高雄】利根

【南洋群島】淀、松山丸

【上海】石見、關東

【漢口】▽千歲

【長沙】鳥羽

伏見

【タラカン】洲崎、標案

【航海中】

隅田(五日)長沙發漢口()

能登呂(十二日)吳發「タラカン」()

宇治(十三日)上海發漢口()

松江(十四日)二見發測量地()

知床(十六日)橫須賀發「タラカン」()

筑前丸(十九日)橫須賀發

武藏(二十一日)根室發橫須賀()

劍崎(二十一日)大湊發橫須賀()

▽筑摩(二十一日)品川沖發舞鶴()

矢矧(二十一日)品川沖發吳()

▽鹿島、香取(二十一日)坡西土發「マルタ」()

滿州(二十二日)橫須賀發大湊()

▽磯波、浦波、綾波(二十二日)多度津發吳()

高崎(二十二日)佐世保發德山()

▽龍田、▽梅、檜、柿、栗、▽榎、梨、竹、樅(二十三日)部崎發佐世保()

○ 雜 款

○新高行動豫定

地名	著	發
馬公港	五月九日	五月二日
サンダカン港	五月十八日	五月十四日
タルナト島	五月三十日	五月二十四日
スーラバヤ	六月八日	六月七日
サマラン灣	六月十五日	六月十四日
バクビヤ泊地	六月二十六日	六月二十三日
バダン	七月七日	七月四日
サバン灣	七月十五日	七月十三日
彼南港	七月二十二日	七月二十日
新嘉坡	八月三日	七月三十日
盤谷	八月十四日	八月十日
柴棍	八月二十七日	八月二十二日
馬尼刺	九月六日	九月三日
馬公港		

○特務艦勢山行動豫定

地名	著	發
佐世保	五月四日	五月二日
吳世保	五月十二日	五月十一日

○特務艦襟裳行動豫定中變更

地名	著	發
タラカン	五月七日	四月二十七日
佐世保		

(四月一日
本欄参照)

海軍公報第二千五百六十七號

大正十年四月二十三日

(部内限二頁)

三五三

海軍公報

第二千五百六十八號

海軍大臣官房

大正十年四月二十五日(月)

○令 達

官房第一四七八號

海軍給與令施行細則第二百二十八條ニ依リ適宜ノ糧食ヲ給スル場合ノ最上限度額ヲ左表ノ通定ム

本令ハ大正十年四月分ヨリ之ヲ適用ス
 明治四十一年官房第一二四六號及大正六年官房第三六三〇號ハ大正十年三月三十一日限り之ヲ廢止ス
 大正十年四月二十五日
 海軍大臣 男爵加藤友三郎

一、支那、亞細亞露領沿岸ハ内國ノ額ニ依ル

官房第一四七九號

南洋群島ニ在動スル軍人軍屬ノ食料ハ當カノ間別表ニ依リ支給ス

本令ハ大正十年四月分ヨリ之ヲ適用ス
 大正六年官房第三六二八號ハ大正十年三月三十一日限り之ヲ廢止ス
 大正十年四月二十五日
 海軍大臣 男爵加藤友三郎

區 分

食 費	内 國	一食代價	區 別
	外 國	二十錢	
刑 事 被 告 人 及 囚 人 (内 國)	内 國	二十五錢	一食金額
	外 國	二十錢	
甲	内 國	四十二錢	將官、勅任文官
	外 國	三十七錢	
乙	内 國	三十二錢	士官、特務士官、候補生、委任文官、同待遇者
	外 國	二十七錢	
丙	内 國	二十五錢	准士官、判任文官同待遇者
	外 國	二十錢	
丁	内 國	二十五錢	雇員、傭人
	外 國	二十錢	

海軍公報第二千五百六十八號

大正十年四月二十五日

三五五

乙	二十五錢	給與令第八十七條ニ依ル食料
丁	八錢	給與令第八十七條ニ依ル夜食料
戊	六錢	給與令第八十六條ニ依ル嗜好食料

官房第一四八〇號

大正六年海軍第六十二號臨時増給支給規則第一條第二條及第四條ノ臨時増給ハ其ノ支給ヲ停止シ同則第三條第二號ノ臨時増給ハ總テ支那旅費定額ノ十分ノ十ヲ支給ス

本令ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ適用ス

大正十年四月二十五日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

○通 牒

經程第三四號

大正八年五月經程第七七號中「下士卒」ヲ「下士官兵」ニ代價ノ下括弧内ヲ「(大正十年四月官房第一四七八號所定内國額)」ニ改メ大正十年度分ヨリ之ヲ施行ス

大正十年四月二十五日

海軍省經理局長 志 佐 勝

參照 經程第七七號ハ徵補文ハ貸下給ノ乘組或ハ便乗者食費ニ關スル件ナリ

經調第二五號

支出及仕拂證書調理様式中左ノ通改正シ大正十年度分ヨリ之ヲ施行ス

大正十年四月二十五日

海軍省經理局長 志 佐 勝

支出及仕拂證書調理様式中糧食支給圖書ヲ左ノ如ク改ム

用紙 美濃十三行野紙

所轄 長印 天正 年度 年 月分 糧食支給調書

實食數	嗜好食料數	夜食數	不給
規定食 患者食 滴宜食	計	戊 己 實食 食料 食數	給與令第 八十七條 ニ依ル 給食數

准士官以上候補生及文官

生徒及下士官以下

給與令第八十八條ニ依リ
給與之者

右相違無之候也

大正 年 月 日

出納官吏 職官 氏名 印

一、給與令第八十九條ニ依リ調製スルモノトス

二、嗜好食料ノ欄表示額以外ノ食料ヲ給シタルトキハ所要欄ヲ設ケ記載スルモノトス

三、嗜好食料ノ欄表示額以外ノ食料ヲ給シタルトキハ所要欄ヲ設ケ記載スルモノトス

海軍公報第二千五百六十八號 大正十年四月二十五日

三五七

1751

同給與令第八十六條ニ依リ支給ノ分ニ對スル證書中備考記事ヲ左ノ如ク改ム

一、給與令第八十七條ニ依リ支給スル食料ノ受領證書ハ此ノ書式ニ準シ調製スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ

ハ受取人氏名ノ欄中「何番食卓長」トアルヲ「下士官(兵)何某外何名代」ト記載スルモノトス

一、給與令施行細則第十九表ノ二戊額、己額ハ區別記載スルモノトス

支出證書調理様式食料前金渡精算調書中「生徒及下士以下」ヲ「生徒及下士官以下」ニ、「己」ヲ「戊」ニ改ム

仕拂證書調理様式中食料前金渡精算調書ヲ左ノ如ク改ム

用紙 美濃野紙

所轄 長印		大正 年 度 年 月		分食料前金渡精算調書		未精 算高		本月 戻入		摘 要	
食 料	前 金 渡 高	月 迄 本 月 前 金 渡 高	精 算 殘 高	本 月 精 算 高	外 國 額	食 數	金 額	食 數	金 額	給與令第七十九 條ノ二ニ依リ給 スル分	
准士											
官以											
上候											
補生											
文官											
同待											
遇者											
准士室											
士官次室											
士官室											
艦長室											
將官室											

計	及生 下士 以下	
	何	戊
右相違無之候也		
大正 年 月 日		
(出納官吏) 職 官 氏 名		
一、食料ヲ前金渡しタル場合ニシテ各人別ニ證明セサルモノハ本調書ニ依リ精算スルモノトス		
一、給與令施行細則第三百三十一條第三項ニ依リ現品給與ノ爲減給高ハ精算高ノ欄ニ朱書ヲ以テ附記シ餘白ニ其ノ品名數量單價代價ヲ掲記スルモノトス		
一、未精算高ハ朱書ヲ控除シタルモノニ依リ計上スルモノトス		

給與令第八十六條ニ依リ給スル分

○ 辭 令

海軍監獄看守ヲ命ス 勳七等 高月 了照
月俸四拾圓ヲ給ス
〔是海軍監獄附ヲ命ス 海軍監獄看守 高月 了照
願ニ依リ海軍監獄看守ヲ免ス 高崎 彌助〕

○ 艦 船 所 在

海軍中尉從七尉 武村 善夫
水路部ニ於ケル水路圖誌編纂調査事務ヲ囑託ス但報酬
月額七拾圓ヲ給シ部内限り委任官待遇トス(以上 十月
海軍省)

海軍公報第二千五百六十八號 大正十年四月二十五日

三六〇
大正十年四月二十五日

〇四月二十五日午前十時調

【横須賀】口長門、口金剛、陸奥、山城、生駒、朝日、
【長門】口若菜、朝日、夕立、三日月、夕暮、
【長門】口若菜、朝日、夕立、三日月、夕暮、
【長門】口若菜、朝日、夕立、三日月、夕暮、

【大】口富士、藤、
【神】口大井、
【徳】口高崎、
【宇和島】口鞍馬、

【佐世保】日向、敷島、肥前、霧島、比叡、磐手、
出雲、須磨、沖島、嵯峨、龍田、口梅、楡、柿、栗、
口榎、梨、竹、松、櫻、梅、口櫻、梅、桃、柳、
白雲、松風、口燕、雁、鶴、蒼鷹、佐多、

【長】口本會、野分、
【舞鶴】口筑前、安藝、備前、吾妻、春日、對馬、
阿蘇、見島、口平戸、最上、口夕立、三日月、夕暮、
白雲、口若菜、朝日、夕立、三日月、夕暮、
口榎、口若菜、朝日、夕立、三日月、夕暮、
口榎、口若菜、朝日、夕立、三日月、夕暮、

【青島】口水無月、卯月、長月、菊月、
【旅順】口水無月、卯月、長月、菊月、
【馬公】口新高、口梅、桂、楓、楠、
【高】口利根、
【南洋群島】口淀、口松山丸、
【上】口石見、關東、
【漢口】口千歳、隔田、
【長沙】口鳥羽、
【タラカン】口伏見、
【モルタ】口襟裳、
口鹿島、香取

【航海中】
能登呂(十二日吳發「タラカン」)
宇治(十三日上海發漢口)
松江(十四日二見發測量地)

知床(十六日横須賀發「タラカン」へ)
 筑前丸(十九日横須賀發)
 武藏(三十一日根室發横須賀へ)
 洲崎(二十二日「タラカン」發馬尼刺へ)
 明石(二十三日佐世保發上海へ)
 野間(二十四日徳山發吳へ)
 扶桑(二十五日大分發吳へ)

○ 雜 款

○軍艦明石行動豫定中變更(四月八日 本欄参照)
 地 名 著 發
 佐世保 四月二十三日
 上 海 四月二十五日

○特務艦高崎行動豫定中變更(三月十七日 本欄参照)
 特務艦高崎行動豫定中五月九日横須賀發以降ヲ削除ス

○事務所撤去
 舊特設運送船辨天丸殘務四月二十三日ヲ以テ全部結了
 セシニ付横須賀海軍港務部内同船事務所ハ同日撤退セ
 リ

○轉居
 東京市芝區白金今里町百五十番地
 軍事參議官海軍大將 名和又八郎
(電話 高輪八八四)

○「ベスト」發生報
(四月二十二日在浦邊真崎海軍少佐電報)
 當地「ベスト」ハ初發以來死亡者十數名、隔離者四十
 名附近ナリ此ノ外判明セザル患者多數ノ見込ナリ但シ
 罹病者ハ未タ殆ト支那人ナリ